

法規 (1)

(注) 解答は、正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)してください。

- [1] 次の記述は、電波法の目的に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 能率的
2. 合理的
3. 適正
4. 有効

- [2] 無線従事者がその免許証の訂正を受けなければならないのは、どの場合か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 他の無線従事者の資格の免許を受けたとき。
2. 本籍の都道府県を変更したとき。
3. 氏名に変更を生じたとき。
4. 住所を変更したとき。

- [3] 免許人(包括免許人を除く。)が不正な手段により無線設備の変更の工事の許可を受けたとき、その無線局についてどの処分を受けることがあるか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 運用の停止
2. 免許の取消し
3. 周波数の制限
4. 運用許容時間の制限

- [4] 臨時検査(電波法第73条4項の検査)において検査されることがあるのは、次のどれか。

1. 無線従事者の勤務状況
2. 無線従事者の業務経歴
3. 無線従事者の知識及び技能
4. 無線従事者の資格及び員数

- [5] 無線局の免許がその効力を失ったとき、免許人であった者がその免許状についてとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 1箇月以内に返納する。
2. 適当な時期に返送する。
3. 直ちに廃棄する。
4. 2年間保管する。

- [6] 無線局において、空電、混信、受信感度の減退等の通信状態について、電波法施行規則では、次のどれに記載しなければならないことになっているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

法 規 (2)

〔7〕 無線局が、自局に対する呼出しであることが確実でない呼出しを受信したときは、次のどれによらなければならないか。

1. その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も応答しないときは直ちに応答する。
2. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
3. その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
4. 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。

〔8〕 無線電信通信において、通報を確実に受信したときに送信することになっている略符号は、次のどれか。

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. $\overline{\text{ラタ}}$ | 2. TU |
| 3. $\overline{\text{VA}}$ | 4. R |

〔9〕 無線電信通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるのは、次のどれか。

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 相手局の呼出符号 | 1回 |
| 2. (1) 相手局の呼出符号 | 1回 |
| (2) DE | 1回 |
| 3. (1) 相手局の呼出符号 | 1回 |
| (2) DE | 1回 |
| (3) 自局の呼出符号 | 1回 |
| 4. (1) DE | 1回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 1回 |

〔10〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

1. 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
2. 無線通信に使用する用語は、できる限り通常使用するものでなければならない。
3. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
4. 無線通信には、略語以外の用語を使用してはならない。

〔11〕 無線局において、「 $\overline{\text{OSO}}$ 」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。
2. 直ちに付近の無線局に通報する。
3. 直ちに非常災害対策本部に通知する。
4. すべての電波の発射を停止する。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、次のどれによらなければならないか。

1. 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
2. 中止の要請があるまで呼出しを反復する。
3. 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。
4. 直ちにその呼出しを中止する。